

発行所
大阪市水産物卸協同組合
大阪市福島区野田1-1-86
大阪市中央卸売市場内
郵便番号 533-0005
電話(6469)3900番
http://www.suinaka.or.jp

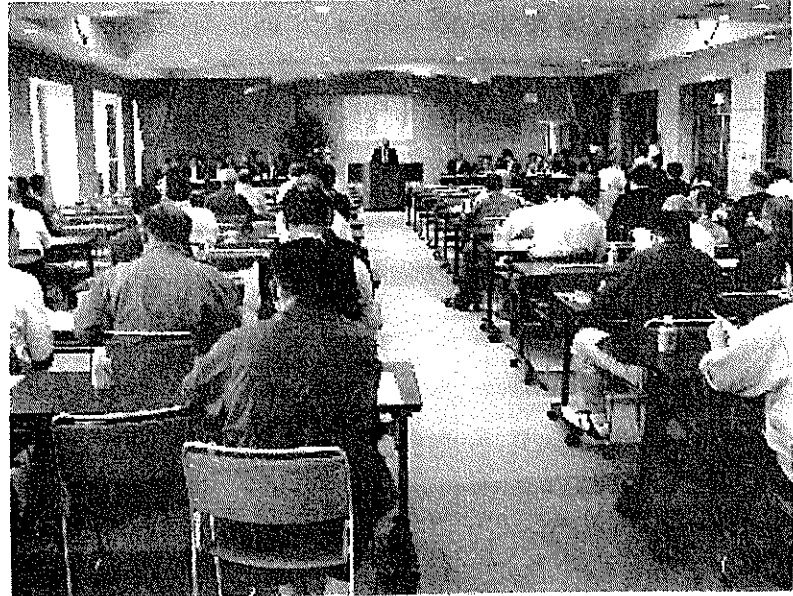
第59回組合定時総会開催
食育活動に鋭意努力!

細井理事長
木本・木畑副理事長再任

組合第五十九回通常総会は、五月二十八日(木)午後、時より業務管理棟十六階大ホールにおいて開催された。
まず細井理事長が開会の挨拶、その後議長に木本・木畑副理事長を選出、第一号議案から第四号議案までを慎重に審議、何れも原案通り承認可決された。

細井理事長開会挨拶

昨年来の米国発の金融危機により日本では実体経済においても、百年に一度の不況と言われております。政府の景気浮揚策が順調に推移する事を願いつつ、我々水産物卸業者としては、個々の企業努力で何とか、この難局を乗り切つていかなければなりません。最近の新型インフルエンザ騒動では、改めて食品を扱う事業者として、衛生面に今まで以上に注意を払う必要性を実感させられました。皆様におかれましては、手洗いやうがい等の励行を従業員にも啓蒙して頂きますようお願いいたします。



さて我々の取扱高はピーク時の一五七五億円(平成三年)から八八〇億円を割り込む事象になっており、前年比でも約六〇億円のマイナスとなりました。皆様の営業努力を見込んで、二

仕入高と前年対比
Table with 3 columns: 08/4~09/03, (百万円), (%). Rows: 通常取引, 延取引, 直接集荷, 合計.

十一年度予算の取扱高を前年実績の八八〇億円とさせて戴きました。事業計画としては、今まで以上に魚食普及に努めてまいります。特に子ども達に魚を身近に感じてもらう、好きになつてもらふ必要があります。大日本水産会のテーマでは「魚が好き」という方は国民の半数以上おられます。価格とか調理が面倒とか、色々問題はあると思われま

◎監査報告
引続き平成二十年度の決算について監事より処理は「正確で適正」との報告が行われた。
その後、議長が第一号議案の承認の有無を議場に諮ったところ、全員異議なく原案通り承認可決された。

◎事業計画(抜粋)
わが国経済は、米国のサブプライムローン問題の深刻化が金融市場の混乱へと一気に拡大し、世界同時株安や急激な円高の進行、そして世界経済の急速な減退など実体経済にも大きく影響し、企業収益を悪化させることになり雇用不安を招きました。このような経済情勢により個人消費が低迷するなど景気の後退が深刻化する状況となっている。
昨年、漁業者と大手小売による水産物の直接取引に国が助成するなど中央卸売市場を取り巻く環境は変わりつつあるが、我が国の伝統的な食生活は生鮮品を重視する食文化を有しており、生鮮品流通の中核を担っている中央卸売市場は基幹的な生鮮品流通機構として大きな役割を果たしてきている。しかし、現在、中央卸売市場のおかれていく状況を見ると卸業者の経営状況が更に厳しさを増しているとともに、消費者ニーズの多様化、市場間の競争など対応を迫られる多くの課題に直面している。
この様な中において将来的な中央卸売市場の在り方について検討していくことが必要である。
食の安全・安心に対する消費者の関心は非常に高まっており、農林水産省が消費者を起点とした安全で信頼される食品を提供することを基本方針とした「食品業界の信頼性向上自主行動計画」策定の五つの基本原則(1.消費者基点の明確化、2.コンプライアンス意識の確立、3.適切な衛生管理・品質管理の基本、4.適切な衛生管理・品質管理のための体制整備、5.情報の収集・伝達・開示等の取組)を守り消費者の信頼を得ることが重要である。
以上を基本に、平成二十一年度の事業計画は次の通りとする。
(組合組織と運営のあり方)
1.組合員の統合大型化、法人化に対する組合運営、組合費等について検討する。
2.空き店舗を解消するため、空き店舗の取得並びに賃貸による活用を、昨年に引き続き積極的に推進し、店舗区画の有効利用と仲卸業務の活性化を図る。
3.効率的な組合運営のあり方について検討する。
(大阪市の方針に対する対応)
「業者・区画の原則」、個人業者の法人化」及び「個人業者の法人化」については、組合員の理解のもとに推進していく。
(危機管理についての対応)
食の安心・安全を脅かす不祥事等が発生すると、その影響は中央卸売市場全体に波及し、市場イメージに取り返しつけないダメージを与えかねない。このため、食品に関する法令違反、不正な取引行為及び暴力行為等の不適切な行為を抑

止するため「危機管理に関する規約」遵守の啓発を推進していく。
(消費税率の引き上げについて)
消費税率の引き上げについては、全国水産物卸組合連合会に設置の消費税率対策委員会において、今後の情勢を見据えながら対応する。
(関連団体・監督官庁との連携)
1. 同業者団体との連携
2. 監督官庁等との連携
3. 市場当局をはじめ、関係諸官庁・関係団体とも緊密な連携を保ち、市場の活性化を図る。

(資料A) 経費総額(及び差引き経費額)に対する各項目の金額と対象比率及び負担額

Table with columns: 年度, A 総取扱高, B 経費総額等, C 事業外収入等, D 差引経費額, E 組合費合計, F 助成金よりの経費負担額, G 経費負担率. Rows for 20 and 21 years.

〔各協力委員会との強調〕
1. 各協力委員会の協力
組合の事業活動の円滑な
推進を図るため、各協力委
員会との連絡を密にし、組
合運営の万全を期する。
(以下省略)

〔第三号議案〕

「平成二十一年度(第六十
期)収支予算案承認の件」
事務局より議案書に基づ
き、予算案の補足説明の後、
尾崎総務委員長が経費負担
率及び額について詳細に説
明(資料A)を行った。

◎尾崎総務委員長の説明

金融不安や新型インフル
エンザまた、さらに円高の
影響など個人消費の盛り上
がりも望めず、先行きは楽
観を許さない状況となつて
おり、市民生活のみならず、
経済活動においても、大き
な影響を及ぼしています。
このような中、昨年度の
実績取扱高八七億九〇〇
〇万円に對しまして、今年
度は予想取扱高として八八
〇億円の計上をさせて頂き
ました。経費総額につきま
しては、本年度も引続き各
委員会に厳しく査定を行
い、二億三二八〇万円の経費予
算を計上致しました。経費
総額から事業外収入等を差
し引いた、助成金よりの経
費負担額を五五二〇万四千
円と致しました。以上によ
り、平成二十一年度の経費
負担率は、昨年の〇.〇五
八三五%に對しまして〇.
〇六二七三%とさせて戴き
たいと思ひます。

問 年々組合の取扱高が減
少している。これからも小
さな組合にしていく方向で
トータルコストの削減をお
願ひしたい。特に関係団体

【質疑応答】

問 年々組合の取扱高が減
少している。これからも小
さな組合にしていく方向で
トータルコストの削減をお
願ひしたい。特に関係団体

とのコスト削減を検討して
いただきたい。

答 細井理事長

政府・行政への要請や交
渉力確保維持の為に、全
国組織を維持していく必要
があります。水産の全水卸
組連は全国組織とは言つて
も中国、四国地方の参加が
ありません。今後参加して
もらえるように交渉を進め
たい。

問 コストが小さくなるよ
うに運営面での検討をお願い
したい。システムの活用
や、改革を行わないと今の
ままではだめだと思ふ。

答 細井理事長

十分に検討してより良い
方向を検討していきたいと
思ひます。

問 施設使用料について、
償還後、使用料はどうなる
のか。また、現在できれば
利息分だけでも市に負担し
てもらえないか。そのよう
な交渉もしてほしい。

答 細井理事長

償還後も施設の維持管理
は継続していく必要があ
り、使用料を下げるという
ことはないと聞いています。
しかし組合としても仲御の
現状を伝え、少しでも負担
が小さくなるように市と交
渉していきたい。

その後、議長が承認の有
無を議場に諮ったところ、
全員異議なく原案通り承
認・可決された。

〔第四号議案〕

「任期満了に伴う役員改選
の件」選挙管理委員長の田
浦久光氏より次のような報
告が行われた。

◎田浦選挙管理委員長の報
告

この度の役員選挙に付き
ましては、去る四月二十八

日に公示を行い、役員立候補及び推薦の届出を、五月八日午後一時をもって締め切りました。この結果、立候補、推薦の届出は鮮魚部におきましては、理事定数十四名のところ十四名、監事定数一名のところ一名、また塩干魚部におきましては理事定数九名のところ九名、監事定数一名のところ一名の立候補又は推薦の届けがあり、五月十二日(火)に組合員の皆様に発表、通知いたしました。

従いまして、鮮魚部理事及び監事並びに塩干魚部理事及び監事につきましては定数通りでありますので、定款第三十条第四項の規程により投票を行わず全員を当選者と致します。

当選者の方々のお名前を届け出順にご報告致します。なお、敬称は省略させて頂きます。

鮮魚部理事 木畑 清、木綿利彦、尾崎 喬、細井禎藏、奥田敏明、長田雅之、古坊浩幸、中山一朗、高丸 豊、高木敏治、出口憲一、井内正幸、増井雅一、上田敏次、鮮魚部監事 岡 勝、塩干魚部理事 木本 慧、三上正剛、山田勝敏、北川禎英、三谷利満、東中晴彦、浄弘行彦、門戸茂治、中北敏之、塩干魚部監事小川裕弘、以上でございます。

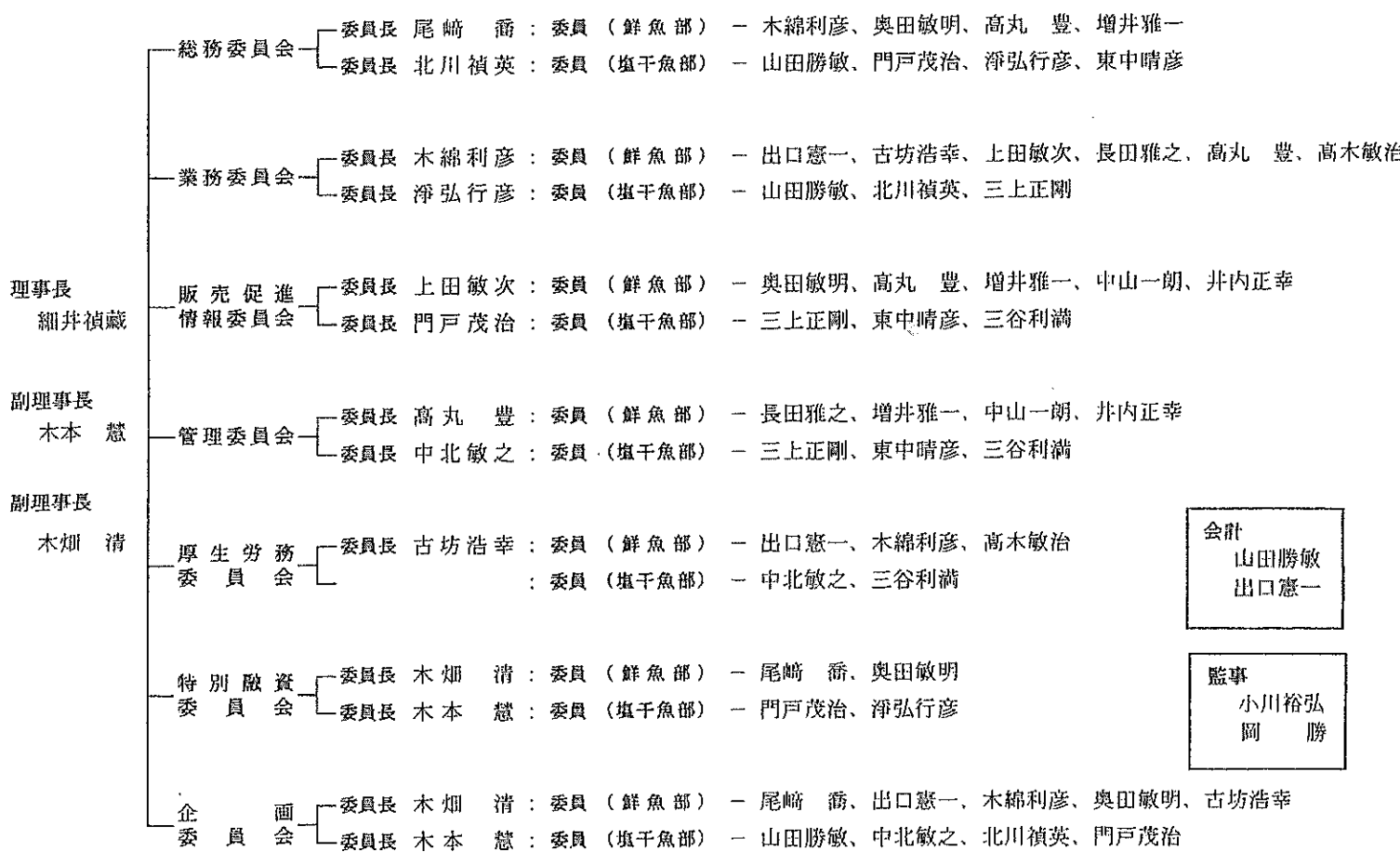
総会は午後二時過ぎ、全議案の審議を終了、何れも原案通り承認可決され閉会した。

大阪市水産物卸協同組合 分科委員会等職制表

平成21年6月11日

(資料B)

役員名簿	
理事長	細井 禎藏
副理事長	木本 慧
同	木畑 清
常任理事	山田勝敏
同	尾崎 喬
同	出口憲一
同	木綿利彦
同	中北敏之
同	北川禎英
同	門戸茂治
同	奥田敏明
同	古坊浩幸
理事	上田敏次
同	浄弘行彦
同	長田雅之
同	高丸 豊
同	増井雅一
同	高木敏治
同	三上正剛
同	中山一朗
同	東中晴彦
同	三谷利満
同	井内正幸
監事	小川裕弘
同	岡 勝



理事会・委員会だより
◎平成二十一年一月
一、理事長報告①卸売場禁煙の件②市場会計の現状について③全水卸組連の件④今後のスケジュール「事務局連絡事項」⑤平成二十年大阪府経済局施設調査について⑥食品セミナーの開催の件⑦平成十九年度本場仲卸の経営状況について⑧街歩き徹底ガイド「野田十福島」の件
二、分科委員会報告◎総務委員会①平成二十一年一月一日付許可◎業務委員会①鮮魚年末決済期日延期取引の件②塩干年末取引についての反省会開催の件◎販売促進委員会①みどり会料理教室への協力と講師派遣の件②記事取材協力の件③第六十回全国カレンダー展の件④吉野小学校の食育親子料理教室の件◎本場取引委員会①公正な価格形成のためのセリ機能向上の件②淡水仲卸と卸会社との関係について③本場卸売場低温化の件④JF島根とイオングループの直接取引について
◎二月
一、理事長報告①青果部水産部厚生食堂の件②食品衛生検査所の冷蔵・冷凍食品取扱施設に対する監視指導の件③愛媛県知事と市場協会常任理事との懇談会の件④納税協会の新春講演会開催の件⑤今後のスケジュール「事務局連絡事項」⑥平成二十年市場取扱品流通状況調査結果の件
二、分科委員会報告◎企画委員会①空き店舗の取得の件②空き店舗賃貸の件◎総務委員会①三月一日付申請の件②本年度鮮魚合同全協力委員会開催の件◎業務委員会①セリ代行・副参加更
新及び新規申請受付の件②塩干年末取引反省会の件③販売促進委員会①魚食普及・食育活動の件②情報化推進の件◎管理委員会①共同冷却設備緊急工事の件②地下加工場の件③厚生労働委員会①青年会主催「第四十八回施設児童訪問おさかなパーティー」の件②厚生食堂の今後の運営の件③ファミリー運動会の件④その他⑤セリ場禁煙の件
◎三月
一、理事長報告①市場五団体による市場長への要望の件②青果部水産部厚生食堂の件③大阪府地方卸売市場の新市場完成式典の件④総会に向けてのスケジュール⑤全国連正副会長会議開催の件
二、分科委員会報告◎厚生労働委員会①第十四回水卸青年会ファミリー運動会の件②厚生食堂の件◎総務委員会①備後事務局事業廃止の件②三月一日付許可の件③四月一日付申請の件④協力委員会の件⑤求人誌の広告料割引の件⑥タイムレコーダ購入の件⑦大阪市の直接取引の件◎業務委員会①セリ代行・副参加の新規申請の件②卸会社との支払区分に関する協議の件③販促情報委員会①WEB共同精算システム更新の件②雑誌女性記者対象の料理教室の件③三市場精算システム廃止の件④食博覧会の件◎管理委員会①魚あち処理料選付の件②企画委員会①空き店舗取得の件②空き店舗賃貸の件③組合費見直しの件④その他⑤食品衛生関係の件⑥セリ場禁煙の件⑦理事任期規定の見直しの件